**「動物愛護」に関するリサーチプラン**

**１．調査の背景と目的**

近年、野良猫に対する安易な餌やりや飼養者の繁殖制限の未実施等から、行政に対する野良猫による生活環境被害等の相談が増える傾向にある。

また、東日本大震災や熊本大地震でも取り上げられたように、災害時のペット避難や保護、飼養方法に関する課題もクローズアップされている。

このような中、大阪府では、「人と動物とが共生できる社会の実現」をめざして、「大阪府動物愛護管理推進計画」を策定（平成26年4月改定）し、犬・猫の引取り数の削減や返還譲渡率の向上等に取り組んできたが、一定の成果はでているものの、まだ十分とは言えない状況にある。

このため、従来からの取組みである犬や猫の飼養者の終生飼養の自覚の醸成や、府がやむを得ず引取った動物の譲渡の更なる促進、災害時等の動物救護対策、「地域猫」対策の検討に必要な府民ニーズ等を明らかにする。

**２．サンプル割付け**

　　現在、犬又は猫を飼っている府民男女各250人、犬又は猫やその他のペットを飼っていない府民男女各250人の計1000サンプル

**３．調査（検証）事項**

（１）終生飼養経験者と未経験者では、次の犬や猫の飼養のきっかけ（積極的・消極的）に差がある

（２）犬・猫飼養者と非飼養者では、犬・猫の譲受けに対する関心度や災害避難所へのペットの持込みの許容意識に差がある

（３）小中学校での動物の飼養経験の有無で終生飼養の経験の有無や犬・猫の譲受けに対する関心度に差がある

（４）犬・猫飼養者は、非飼養者に比べて、野良猫に餌やりをする人が多い

（５）野良猫に対する餌やりの経験者は、未経験者よりも野良猫対策を（地域住民ではなく）行政がすべきと考えている人が多い

**４．質問項目**

ＳＣ　現在のペットの飼養状況（ＳＡ）

本質問　２０問

【全員】

Ｑ１　過去の犬又は猫の飼養経験の有無（ＳＡ）

Ｑ２　【犬猫飼養経験あり】終生飼養経験の有無（ＳＡ）

Ｑ３　【終生飼養経験なし】飼養放棄（譲渡）した理由（ＭＡ）

【現在の犬・猫飼養者】

Ｑ４　犬又は猫の飼養のきっかけ（ＳＡ）

Ｑ５　犬又は猫の飼養年数（ＳＡ）

Ｑ６　現時点での終生飼養意志の強さ（ＳＡ）

【全員】

Ｑ７　小中学校等の教育現場での動物の飼育経験の有無（ＳＡ）

Ｑ８　犬・猫の譲受けに対する関心度（ＳＡ）

Ｑ９　【関心あり層】犬・猫の譲受けに対する実践（行動）の有無（ＳＡ）

Ｑ10　【行動あり層】アプローチ先（ＭＡ）

Ｑ11　【行動なし】その理由（ＭＡ）

Ｑ12　災害避難所へのペット持込みの許容度（ＳＡ）

Ｑ13　容認する理由（ＳＡ）

Ｑ14　容認しない理由（ＳＡ）

【全員】

Ｑ15　野良猫への餌やり経験の有無（ＳＡ）

Ｑ16　野良猫への餌やりの理由（ＳＡ）（思いやり？自己満足？）

Ｑ17　野良猫被害経験の有無（ＳＡ）

Ｑ18　野良猫被害の内容（ＭＡ）

Ｑ19　野良猫被害に対する対策（地域・個人）（ＭＡ）

Ｑ20　野良猫被害の解決方法の考え方（ＳＡ）

　　　※行政、地域、個人等

**５．検証方法**

（１）Ｑ２×Ｑ４

（２）犬・猫飼養有無別×Ｑ８、Ｑ１２

（３）Ｑ７×Ｑ２、Ｑ８

（４）犬・猫飼養有無別×Ｑ１５

（５）Ｑ１５×Ｑ２０